

北京日本人学校 最新レポート

2011年8月2日

北京日本人学校教諭 完田 八郎

北京市の様子

北京市は2008年のオリンピックを契機に年々目覚ましい発展を続けています。現在の北京市の人口は1500万人を超え、近年の中国の経済発展にともなって市街地はますます近代化されています。

もちろん昔ながらの風情ある街並み（胡同）も残されている地域はありますが、街の様子を眺めてみると、大きなビルがたくさん建設され、開発が進んでいることを肌で感じることができます。

中国の乗り物と言えば自転車というイメージがありましたが、現在あまり自転車に乗っている人は多くありません。代わりに電動自転車が主流です。元々多くの人々が自転車に乗る習慣があったために、北京市内の自転車専用道は非常に広く、サイクリングを楽しむにはとてもよい環境になっています。北京のおすすめポイントの1つです。現在の移動手段の中心は日本と同じように自動車になっており、このことで慢性的な渋滞が引き起こされています。

北京日本人学校の特徴

北京日本人学校の現在の児童数は小学部が約500名で中学部と合わせると600名を超える人数になります。世界の日本人学校の中では比較的大規模な学校です。

はじめに北京日本人学校の特徴についてお話をします。特徴としてまず「たてわり班活動」が挙げられます。小学校1年生から中学校3年生までの子どもが同じ校舎で学んでいる特徴を生かして、共に活動する場面が多く設定されています。全校遠足や運動会なども一緒に行います。中学生のお兄さんお姉さんに引っ張られて小学生も安心して活動を楽しむことができます。

5月の遠足では万里の長城へ出かけました。長城は学校からバスで約1時間半くらいの所にあります。ハイキングをしながら約30分で万里の長城に到着です。そこでレクリエーションをしたり、お弁当を食べたりしました。上級生とペアを組んで新一年生も安心して遠足を楽しむことができました。北京には世界遺産が



6つもあります。毎年違った世界遺産に遠足で行くのが学校の恒例行事になっています。

また、小学校1年生から週にそれぞれ1時間、英会話と中国語の授業があります。小さい頃から国際的な感覚やスキルを育んだり、滞在国理解を深めることをめざしています。

冬になると鳥取よりも気温が低くなり、日中でも氷点下の気温の日が続くそうです。そこで体育の学習ではスケートが取り入れられています。このように北京の地域の特色を生かした学習活動が北京日本人学校ではたくさん行われています。

2年生の活動

次に子どもたちの学習活動についてお話します。私は現在2年生の担任をしています。6月は校外学習でスイカ収穫体験に出かけました。北京郊外のスイカ畑に出かけて、子どもたちはスイカを1つ丸ごと収穫しました。鳥取でもなかなかできない体験です。北京も鳥取と同じようにスイカが特産物です。また梨畑もたくさんある地域です。鳥取とよく似ている所があると、とても身近に感じました。



7月には生活科の学習で学校の近くの公園に出かけました。日本の公園と少し違うところがいくつかあります。まず屋外に備え付けの卓球台がいくつも置いてあり、誰でも卓球を楽しむことができます。グループでダンスを踊っている人や、太極拳をされている人もたくさんあります。また、遊具は子どもたちが遊ぶブランコやジャングルジムではなくて、大人が使う健康器具のようなものがたくさん置かれています。普段からお年寄りを中心にたくさんの人でにぎわっています。中国の方は近年健康志向が高まっているようです。



北京には花や木々の手入れがしっかりとされていて、明るくてきれいな公園がたくさんあります。一番驚かされるのがその大きさです。鳥取では想像できないくらい広い公園がいくつもあり、住民の憩いの場になっています。

現地校との交流

先日は北京から車で3時間以上離れた現地の小学校へ出かけました。授業をしたり、レクリエーションをしたりして中国の子どもたちと交流を深めました。

今回は「朝の会」「帰りの会」を担当させていただきました。その中で鳥取の「自然」や「祭り」や「おいしい食べ物」について中国の子どもたちに紹介しました。「鳥取には大山御幸行列というものがあるよ。」とか「お正月に甘い小豆の入った汁にお餅を入れて食べるよ。」などの話をする、みんなとても興味を持って聞いてくれました。

かわりに中国武術の型をいくつか教えてもらいましたが、なかなか難しかったです。

中国にも日本にも素晴らしい文化があります。互いにそれを認め合うことが交流の第一歩かなと感じました。

今後も日本人学校だけでなく、いろいろな場面で鳥取のよい所をアピールできたらと考えています。



おわりに

北京に来てやっと4か月が過ぎました。北京日本人学校の子どもたちはとても元気で活気があります。学習への意欲があります。経済発展著しい中国のパワーと日本人学校の子どもたちのパワーをもらって、自分自身が日々少しずつ成長させてもらっていることを感じます。今後も鳥取の皆様へこの活気ある北京や日本人学校の様子をお伝えできたらと考えています。